

平成29年10月22日

平成29年度第2回 新木「地域会議」議事録

- 1 開催日時 平成29年10月22日（日） 10:00~
- 2 開催場所 新木近隣センター 多目的ホール
- 3 議 事 司会進行 新木地域会議事務局長
 - (1) 開会挨拶 事務局長 10:00
 - (2) 我孫子市市民活動支援課 挨拶
市民生活部 市民活動支援課 課長
 - (4) 意見交換 10:40
 - ア 全体会議
「防災プロジェクト」報告 事務局
・ 防災PR紙について
作成内容について、評価を得た
2号を継続して作成するため、プロジェクトを
継続していく、委員の皆さんに参加呼びかけ

・ 避難訓練及び避難所設営訓練 市民安全課主催
平成29年12月2日（土） 新木小学校体育館等
自治会を中心に、参加して防災意識の高揚を図る

報告についての意見交換
・ 特になし
 - イ グループ会議 10:00
・ 各グループ自己紹介
・ 次回の、「地域会議の開催テーマ」について
安全・安心住みよいまちづくりに向けて

各グループの意見内容

別紙のとおり

ウ グループ発表

11 : 30

グループ発表の主な課題内容

- ・子どもの安全確保掛け声 あいさつ励行
- ・Jアラート発信時の対応 通学時の対応
- ・若い世代へのアプローチ
- ・水害の場合の避難等 すぐ逃げる
- ・自治会未加入者の対応 (外国人の方等)
- ・ごみ問題、ステーションのあり方
- ・通学路交通問題
- ・地域内の見守り 子どもと高齢者のふれ合いの場づくり
- ・班別にふれあい、顔見知りになる環境づくり

(5) 質 疑

11 : 50

特になし

(6) 閉 会

11 : 55

(7) 第6回地域会議 課題と推奨事項 アンケート

4 出席者

別紙の通り

5 次回予定日

平成30年2月25日(日) 10:00~12:00

メモ欄

自治会長懇談会、地域会議のあり方について課題にあげたいと思います

平成29年10月22日

第1グループ 討議内容

安全・安心・住みよいまちづくりに向けて

- ・東京防災を参考に作られた、「新木防災」よくできています
- ・若い世代へのアプローチが必要
- ・通学時にJアラートが鳴った場合に子どもに対する防衛
- ・通学路の子ども110番等、通学路にある家庭に協力を求めたら
- ・地域のコミュニケーションとしての会話が必要
- ・年1回 側溝の掃除をすることによる、コミュニケーション
- ・Jアラートが鳴った場合、何をして良いか分からない
- ・消防署のAED講習への参加、危機管理
- ・11月19日にある、新木野・新木団地の避難訓練、市の12月2日と一緒にならなかったのか
 - ・子どもの安心、挨拶の励行 子どもへの声掛け
 - ・PR紙の、保管場所について、追跡調査も必要
 - ・水害の場合は、即避難、逃げる
 - ・交通、路上駐車、環境整備が必要 住宅外でのスピード出しすぎ
 - ・ハザード・マップの活用 意外と利用されていない

◎ 今後、検討する課題について

- ・子どもへの声掛け 挨拶励行
- ・通学登・下校時のJアラート発信対策
- ・若い世代への、アプローチ 活用コミュニケーション

平成29年10月22日

第2グループ 討議内容

安心・安全・住よいまちづくりに向けて

- ・防災などに関して、自治会未加入者にも加入者と同様の扱いをしたいが、どのような活動にも費用が掛かるだけに、加入者から平等に扱うことにたいして反対意見あり
 - ・ゴミの集積に関して、場所や方法が異なるが、通りがかりの車からの不法投棄など問題がある。クリーンセンターの考え方は、「集積場所なら誰でも何処に持ち込んでも良い」としているが、不法投棄が増える一因となるので、方針を改めるよう市へ要請したい
 - ・大型店が開店となるだけに交通量の増加が予想され、安全対策を市へ要請したい
 - ・通学路に暗いところが多く、街灯整備と防犯カメラの設置が必要
 - ・除草キャンペーンを地域会議が音頭を取って進めたらどうか
 - ・湖北地区で中学生が清掃運動で頑張っているとのこと
 - ・各自治会でも清掃活動をしていると思いますが、駅や通学路など範囲外の場所を対象にしてはどうか。
 - ・中学生や高校生が高齢者と一緒になっての活動することに意義がある
- ・上記の意見を市に要請するためにも、市政懇談会には参加したい

平成29年10月22日

第3グループ 討議内容

安全・安心・住みよいまちづくりに向けて

- ・新木防災PR紙について、見てもらうにはどうしたらよいか
 - ・安心カードと共用する
 - ・最後に1置枚にまとめて、水に濡れないようにして、避難の時に玄関等に避難した目印として張る
 - ・地域、安全 安心住みよいまちづくり
 - ・顔見知りになる
 - ・子どもお年寄りの場所をつくる（子どもとお年寄りが遊ぶ場所
 - ・空き家ごみ問題
 - ・何回も繰り返しお知らせする
-
- ・PR紙、安心カードと共用し冷蔵庫へ
 - ・地域内の見守り、子どもと高齢者のふれ合い
 - ・班ごとのふれ合い、顔見知り

平成29年10月22日

第4グループ 討議内容

安全・安心・住みよいまちづくりに向けて

- ・新木の中に障害者施設が参加してきたことが気になっている
高齢化で見えない人がいる、外に助けを求められない
高齢者が安全に暮らせるか、見守りネットワーク活用できているか
どう支援できるか、障害者の放課後ディサービス
地域の中での世代間交流を図れるか 地域交流
- ・高齢者福祉の立場で、自助・共助・公助の共助進める
近所にどういう人が住んでいるか分かれば、近所の人々の支援がある
個人の付き合いの中での支援から、まち全体で支援できるようにする仕組みづくりをしたい
- ・特別支援学校と交流を持つ活動をしている
お年寄りとの交流を、教育として行っている
安全という点からは課題がある 新木で楽しく暮らせるために
- ・子どもの心の成長、安全を図ることは
- ・教育としては、行っている 個人間の付き合いには学校の立場では、ふみこめない
- ・12月2日の避難訓練に参加したいが、ディサービスがどこまでできるか
- ・次回の課題をテーマに話を進めたい
自治会で出来る事は、回覧板を1週間ごとに出していることで、安否確認をしている
班の世帯数によって、回覧する数が多くしている
自治会独自のゴミゼロ運動を、各家庭の自己紹介の場に行っている
夏まつり・餅つき大会を行って、各家庭の自己紹介の場に行っている
自治会たよりを発行している
新木駅周辺に、カスミ・ウェルシアが開店し、車が増える
通学路は大丈夫か、市に折衝しているが進展がない
通学路の安全を確保したい、安心して学校に通えるような環境が必要
- ・自治会役員になって、初めて見守りネットを知った
隣の家の人を知らない事がある

回覧の頻度が多いことへの意見は、
地域の人に、理解いただいている

- ・ 支援学校は、白井・印西・柏・我孫子が学区で、バスで送迎している
新木から通っている子供は、自力で通学しているので、先生が見守りをして
いる、地域の見守りがあれば助かる
- ・ 地域が広くて、安全を確保するのがむずかしい
避難に車を使う
福祉施設は避難所に行くよりも、その場に留まることを選ぶ、被災した時の避
難先の受け入れが出来るか、情報を交換した
通常、福祉施設は、被災した時には、家に帰るのが基本
南新木自治会は、南あらしのおうちの手伝いをしている
- ・ 新木小に避難した後、安全確認できたら、別の場所に移れる
家屋が倒壊するか、大火災の時に、避難所が必要
それ以下の被災なら、安全が確保できたあと、家に帰れる
- ・ 安全な交通・道路の確保
国道、線路を挟んで、南と北が行き来できるような道を造ってほしい
- ・ 各家庭の中で話し合いが、できているかどうかということが大事
- ・ 普段の付き合い、となり近所で普段の共助
- ・ SNSでのつながり、自治会で行っているか
寿自治会でSNSを使いつないでいる
- ・ 新木小はメールがつながっている
- ・ 市の防災メールの登録方法を知らない
- ・ 情報、フォーマルな情報とインフォーマルな情報、イベントの時だけのつなが
りから普段の付き合いに。お祭り等をきっかけに

- ・ 情報の共有まとめ

安全な交通道路が、国道・線路を挟んで、南と北が行き来でき様な、道をつく
ってほしい

新木団地に当初から住んでいる人と、新しく引っ越してきた若い人との交流